

## 市政に対する質問 7

### 1. 市長の政治姿勢

質 問	回 答
<p>特殊勤務手当についてお聞きします。</p> <p>総務省が平成16年度から数回に渡って地方自治体に「市民から見て納得のいかない不適切な特殊勤務手当があったら廃止するように」との通達をしています。その時点で、多くの自治体が廃止しました。しかし、所沢市においては廃止されていませんでした。</p> <p>当麻市長が就任された平成19年度当時にも多くの特殊勤務手当がありました。議員の指摘もあって市長は、特殊勤務手当の廃止に力を入れたと思います。そこでお聞きします。当麻市長が廃止した多くの手当の内容と金額をお示し下さい。</p>	<p>・特殊勤務手当につきましては、平成22年4月より、それまで15種類ありました手当のうち、6種類を廃止し、2種類を新たに創設させていただきました。廃止した手当の内容でございますが、清掃手当、土木作業手当、炊事手当、保健指導手当、変則勤務手当、年末年始勤務手当の6種類でございます。そのほかに、危険手当の一部（冷暖房施設の保守管理業務と大型機械の操作業務）、医務手当のうちの一部（月額支給の臨床検査医業務、看護業務、放射線取扱業務など）につきましても廃止しております。その削減効果でございますが、現在は2年間の経過措置により段階的に減額しております。それが終了いたしますと、廃止前に比べ、年間で約6千万円の減額になります。</p>
<p>他の手当も廃止出来たのは素晴らしい指導力だと思います。しかし、まだ所沢市には他市にはない手当がまだいくらか残っています。例えば、年間5万4千円も支給されている保育士手当です。23年度予算にも計上されています。まだ残っている特殊勤務手当を挙げてください。そして今後、当麻市長はどのような方針で取り組んで行かれるのかをお示し下さい。</p>	<p>・残っている手当で廃止を検討しておりますのは、危険手当のうち高圧受電、変電施設の保守管理業務のうち保守員、福祉業務手当のうち生活保護医療及び支払いに関する業務・居宅介護支援サービス計画（ケアプラン）作成等に関する業務・保育園における保育業務・松原学園における現業を行う業務・児童館における指導業務・老人ホームにおける在園者の処遇にあたる業務等です。</p> <p>これらの手当は、いずれも業務の実績が無いものや、また、特殊勤務手当の制度の趣旨に合致しないと思われるもので、速やかな廃止にむけて、現在職員団体と協議を重ねているところでございます。</p>

次に24時間小児医療についてお聞きします。平成22年2月に清瀬小児病院が閉鎖される事がわかってから所沢市は、市内に24時間救急医療に対応する小児科病院を市の責任において実現する事に力を入れて来ました。特に当麻市長が就任されてから大きく前に進みました。どのように力を入れてどのように実現したのかをお示し下さい。また、今後の取り組みについてもお示し下さい。

・救急医療につきましては、入院治療が不要なく外来で対処しうる初期（一次）救急、入院治療を必要とする重症患者に対応する二次救急、二次救急では対応できない重篤な患者に対応する三次救急という三層の体制になっております。

小児救急医療体制の現状といたしましては、本来、365日輪番病院があるべき小児二次救急が、週に3日のみの実施となっていた状況でございますが、この原因となりましたのは、初期救急の体制が不十分のため、入院を必要としない初期救急患者さんが二次救急輪番病院に殺到し、本来の役割ができず、その結果、医師が疲弊し二次救急輪番を辞退する病院が出てしまったためです。

また、多くの所沢市民の方も受診しておりました、都立清瀬小児病院も移転することが決まっており、所沢市にとりまして、安心して子育てができる環境の一つである小児救急医療体制の整備は、喫緊の課題でございました。

初期救急につきましては、市の責務ですので、その対応を図るため、既に平成11年から所沢市医師会、所沢市薬剤師会、防衛医大のご協力をいただきながら、準夜帯の小児夜間急患診療を実施していました市民医療センターで、24時間365日の小児初期救急医療体制を構築するよう努めてまいりましたが、平成19年11月から小児夜間急患診療が365日の実施となりました。

その後、平成20年12月には、準夜帯に続く深夜帯につきましても、水曜日に加え金曜日にも実施いたしました。平成21年4月には、小児科医師1名の招聘を図り、月曜日の深夜帯を、10月には火曜日にも実施することができ、週4日の深夜帯の実施を図りました。

また、休日の診療につきましては、市民医療センター開設当初から実施しております日曜日に加え、昨年5月5日からは、祝日の昼間の診療も開始いたしましたところでございます。

さらに、本年1月8日からは、土曜日の深夜帯を開始いたしました。これにより、市内では木曜日の西埼玉中央病院で行っております二次救急も含めると、深夜帯の診療を実施していないところは、日曜日だけになり24時間365日の小児初期救急医療体制に大きく近づくことができました。

また、一昨年に大流行いたしましたH1N1のインフルエンザの教訓から、院内感染防止の強化と、診察環境の向上を図るため、県からの補助を活用し市民医療センターの外來診察室を小児科と内科を別棟とする改修工事を行い、診察室も増やすことができました。特に小児科診察室には、授乳室や小児用トイレを設置し、大変好評を得ているところでございます。

このように、市民医療センターで実施しております、小児初期救急診療を充実したことによりまして、ここ数年、懸念されておりました都立清瀬小児病院の移転後の影響や二次救急の完全実施となっていない原因につきましては、ある程度、対応できたのではないかと感じております。

今後につきましては、第5次総合計画に「小児初期救急医療体制整備事業」を「今後、4年間に重点的に取り組む事業」と位置付けましたことから、医師の招聘が条件となりますが、24時間365日の小児初期救急の診療、さらには、点滴など経過観察が必要な軽微な入院に対応できるような体制づくりに努めてまいりたいと考えております。また、救急医療につきましては、初期、二次、三次の体制が整っていることが必要なことから、所沢地区の二次救急が週7日実現されるよう、県に対して要望してまいります。

最後になりましたが、申し上げるまでもなくこれらの事業は、継続して実施していくことが重要でございます。せっかくここまで構築してきました体制を維持するために、市民の皆様にも適正なご受診にご理解をいただきながら、より一層の充実に向け努めてまいります。

## 2. 「職員の意識改革」についてお聞きします

質 問	回 答
<p>これは西久保副市長の声やお考えを聞いてみたいと言われる市民の方も多いものですから始めに西久保副市長にお聞きします。</p> <p>市民の方々は「厳しい財政状況を職員全てが知っているのか？」「職員に市の歳入や歳出や市の借金の額を説明する機会はあるのですか？」と言われる。あるのでしょうか？</p>	<p>・市の財政状況につきましては、財政課から『財政トークス』などを通じて、全職員にむけ財政に関する情報を発信しております。この『財政トークス』は、当市の財政状況を、難しい財政用語を使わずに新入職員や専門職の職員など、誰でも理解しやすい内容で説明しておりますし、必要に応じて、号外を出し、税収が厳しい状況や決算概況などの周知を図っております。</p>
<p>保育士さんが保育士手当として年間5万4千円もらっている事は、税金をお預かりしていると言う気持ちには見えない。と市民の方は言われます。自らが「手当はいらぬ」と言わないのか？言わないなら何故、市の執行部は手当を廃止する強い指導が出来ないのか？と、言われます。副市長のお考えをお聞きしたいです。</p>	<p>・保育士手当につきましては、職員の勤務条件として労使で協議した結果を過去に議会でお認めいただいて支給しているものでございますが、現在その廃止にむけて職員団体と協議を続けているところでございます。</p>

## 3. 保育行政：事業仕分け後に公立保育園給食事業の検討は

質 問	回 答
<p>23年度予算案では、22年の6月に実施した事業仕分けの結果を生かして、経費を削減する改善事業がいくつかあります。改善の視点で「公立保育園給食事業」について伺います。</p> <p>給食を作っている調理師の給与が高すぎると、言われていたましたが、調理士の給与を教えてください。</p>	<p>・事業仕分けの「事業シート」における人件費は、市の正規職員全体の平均値（人件費：937万5千円）でございまして、平成21年度決算における、保育園給食に携わる正規職員（調理員、栄養士、調理師）の平均人件費は、市が雇用者として共済組合等に支払う負担金も含め858万6千円でございます。</p>

<p>事業仕分けで仕分け人に「公立保育園給食事業」はどのように評価されたのですか？お示し下さい。</p>	<p>・事業仕分けに関するご質問でございますが、仕分け人5人のうち、「民間委託拡充とする」が3人、「要改善とする」が1人、「継続とする」が1人であり、最終的に「民間委託」という仕分け結果でございました。</p>
<p>全体の子育て支援の公平性を確保する必要があると言われました。また、保育課は保育園運営にコスト意識を持つ必要がある。とも言われました。今までの議会でも、多くの議員から同じ所沢市の乳幼児なのに、保育行政の予算を公立保育園ばかりにかけすぎる。との質問が沢山あります。市内の民間保育園では有機農業の委託業者に給食業務を委託して実施している園もあります。私は石本議員とその園に視察に行きましたが、アレルギー対応もしていましたしおいしかったです。市内の民間保育園にそのような園がある事は部長もご存知と思います。事業仕分けの結果を受け手、市はこの「公立保育園給食事業」を今後どのように改善して行くのですか？</p>	<p>・保育園給食事業には、アレルギー食や0歳児食など個々の状態と成長の度合いに対応した安全・安心な食事を安定的に提供するためコスト面以外の配慮も求められてところでございます。</p> <p>今後、各園における調理員の配置の状況も勘案しながら、民間活力の活用などコスト的な視点からも改善に努めてまいりたいと考えております。</p>

#### 4. 所沢市ごみ減量・資源化を進める市民会議について

質 問	回 答
<p>21年 月に発足した「所沢市ごみ減量・資源化を進める市民会議」が発足しました。その後、現在まで続けて来ています。市民会議の内容、意義と2年間近く活動してきた成果をお示し下さい。</p>	<p>・「所沢市ごみ減量・資源化を進める市民会議」につきましては、資源循環型社会の形成に向けて、市民参加による検討及び実践活動を通じて、家庭や事業所から排出されるごみの減量・資源化を進めることを目的に、2年間の任期を定めて、平成21年7月に設置したものでございます。</p>

この「市民会議」の活動状況でございますが、当初2回の全体会議開催後は、「生ごみ減量・資源化部会」、「雑がみ、古布、剪定枝減量・資源化部会」、「プラスチック類減量・資源化部会」、「ごみ減量・資源化啓発・普及部会」の4つの部会に分かれまして、概ね月1回会議を開催し、それぞれのテーマに従い研究や実践活動を行っていただいております。

現在までの、「市民会議」の成果でございますが、「生ごみ部会」におきましては、市で実施しております「生ごみ資源化推進事業」の充実を図るためのアンケートの実施や生ごみの水切りについての啓発方法等につきまして検討していただいております。また、市民フェスティバルに参加し、生ごみ処理機器の紹介や生ごみ堆肥を無料配布することにより、「生ごみ資源化推進事業」への参加を呼びかけるなどの啓発活動を実施いたしました。

「雑がみ部会」におきましては、主に、雑がみや古着、古布の資源化につきまして、その啓発方法等を研究し、市民フェスティバルに参加し、ポスターで作った「雑がみ入れ」や古着を無料配布するなどして、直接市民の皆さんに協力を呼びかけました。

「プラスチック部会」におきましては、レジ袋の削減に向け、小売店舗へのアンケートの実施や市民フェスティバルへの参加による、プラスチック類の減量・資源化やレジ袋削減についての啓発活動を実施いたしました。

「啓発・普及部会」におきましては、毎年、各家庭に配布しております「家庭ごみの分け方・出し方」のパンフレットにつきまして、市民の皆さんに、わかりやすくするための検討をしていただきました。この検討をもとに平成23年度配布用の「家庭の資源とごみの分け方・出し方」を作成し、3月16日以降、各ご家庭に配布させていただきました。

	<p>なお、各部会とも、更なる検討や活動を行い、委嘱期間の満了する6月末には、2年間の研究成果として報告書をまとめていただくことを考えておりますので、貴重なご提案があるものと期待しているところでございます。</p>
<p>去年の市民フェアでこの資源化をすすめる市民会議の「雑がみ部会」の方々が、雑がみを入れる袋を多くの市民に配布していました。部会の方々がご自分たちで作ったそうです。ごみの減量、資源化に思いを込めているボランティア市民の方が沢山いて、その方々も今後とも活動して行くと張り切っていたのですが、環境クリーン部長にお聞きしますが、3月8日の日に雑がみ部会の市民から聞いたのですが「資源循環推進課と一緒に活動して来たのに、23年度の市民会議の方針を市が勝手に決めてしまったので、もう一緒にやる事が出来ない。市民会議の市長からいただいた委嘱状を当麻市長に返上したい」と、言われています。 40人の中のほとんどの市民の方がそう言われています。なにが3月8日の日にあったのですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月8日は「雑がみ、古布、剪定枝減量・資源化部会」の会議が開催されました。今回の会議の内容につきましては、「雑がみ」の回収を多くの市民の方々に取組んでいただくため、集団資源回収を実施している自治会には、より多くの「雑がみ」を回収していただき、また、未実施の自治会には、集団資源回収に取り組んでいただくために、市民会議として通知を発送することになりましたが、そこで平成23年度の集団資源回収の報償金単価が下がることが問題になりました。当該部会では、少しでも多くの「雑がみ」を回収することをテーマとして、調査研究を進めている中にありまして、報償金単価が少なからず回収する意欲に影響するにも関わらず、単価を引き下げることが調査研究の過程でお知らせしなかったことに対し、納得がいかないということでした。</li> </ul>
<p>市長にお聞きします。 市民会議の方々は、市長の資源化できる物を増やして再生したいとの思いに賛同して、活動して来た</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会議は、市民が主体となり調査、研究を進め、市職員はこれをサポートするものでございますが、今回の予算につきましては、集団資源回収の報償金が、資源の回収を奨励する報償金という性格上から、</li> </ul>

方々ですから、市と二人三脚で活動してきたと思われる  
られています。なのに、「私たちに知らせることなく  
予算額を決めてしまった」と言われています。市民  
の方々の気持ちは二人三脚でやってきた。市長に協  
力してきたとの思いが強いのです。

2009年7月17日の新民報（ローカル紙）に次  
の記事が掲載されています。「市民と市と事業者の  
協働によるごみ減量・資源化をめざす所沢市や事業  
者、関係団体で組織する「ごみ減量・資源化を進め  
る市民会議」を発足。15日には市役所8階大会議  
室で第1回目の会議を開催した。会議の冒頭、当麻  
市長から各委員に委嘱状が手渡された。ひきつづい  
て当麻市長が「この会議は、私がマニフェストに掲  
げた約束のうちの一つであり、こうして多くの市民  
に応募していただいたことに感謝します。現在、廃  
棄物を取り巻く社会環境は著しく変化しており、適  
正な処理、処分を行うことはもちろん、最終処分量  
の削減や温室効果ガスの排出抑制の観点から、ごみ  
の発生・排出抑制や再利用を重視する方向に移って  
います。市としても東西クリーンセンター、エコロ、  
エコステーションが順調に稼働し、循環型社会の形  
成にむけた取り組みも広がってきています。今後も、  
市、市民、事業者の相互協力によるゴミ減量・資源  
化をすすめていくことが行政の責務であり、みなさ  
んにはこの会議でより効果的な提案をいただき、さ  
らにごみの減量と資源化をすすめていく」と挨拶し  
ました。 と、掲載されています。

集団資源回収登録団体や市民会議の部会との協議にはなじまないもの  
と考え、行政が検討する課題と捉えました。市の財政状況や近隣自治  
体との均衡、平成22年6月に実施いたしました事業仕分けの指摘等  
から予算を作成し、平成23年度予算が議会で決定した後、市民会議  
の皆様を始め、各団体へお知らせする予定でありました。  
単価の見直しにつきましては、去る3月議会において平成23年度予算  
として提案し、慎重なご審議の上ご議決をいただいたものでございま  
す。



<p>このように市長が思いを語り委嘱状をいただいた市民会議の方々は、市と二人三脚で活動してきたと思っています。</p> <p>それなのに、相談もなく決めたと怒っています。市長はどのように思われていますか？</p>	
<p>「所沢市ごみ減量・資源化を進める市民会議」の方々も市長に要望書を出したと聞いています。市民会議の方々と信頼回復にむけて話し合いの場を作っていただけますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会の皆様と行政との信頼関係が壊れたとお考えや行き違いが生じたことにつきましては、大変心苦しく思っております。</li> </ul> <p>私は、ふるさと所沢を魅力とやすらぎのある、安心して暮らせるまちにするために、市民の皆様との契約であるマニフェストを掲げさせていただきました。その中で、本市が直面しております様々な行政課題の解決に向けて、市民の皆様と「協働で元気なまちづくり」を進めてまいりました。</p> <p>とりわけ環境問題に関しましては、市民の皆様の知恵や工夫を集め、お一人おひとりが身近なところから努力や行動を重ねることが、本市の住みよい環境をつくり維持するうえで大変重要であると考えております。</p> <p>このようなことから、私はマニフェストに「市民会議」の設置を掲げ、多くの市民の皆様のご賛同をいただき発足したものでございます。</p> <p>市民が主体となって様々な課題について調査、研究等を進め、行政はこれをサポートし円滑な運営を図っていく上で、市民の皆様と行政の信頼関係は必要不可欠なものでございます。</p> <p>今後の会議におきましては、皆様との一層の連携と情報の共有を図ることにより、お互いの信頼関係が深められるよう、引き続き努めてまいりたいと考えております。</p>